

平成 28 年度 事業報告（概要）

1 総括

- 各施設の運営に当たっては、安定した収入の確保を図るとともに、効果的・効率的な事業執行に努め、法人全体として健全かつ安定した経営を維持した。
- 人材の確保、定着等に向けた雇用・給与等の処遇の改善や育児休業期間の拡充等により働きやすい職場づくりに取り組んだ。また、階層別の本部研修や施設内外の研修等により、職員の資質向上に取り組んだ。
- 社会福祉法人制度改革に対応し、定款の変更を行い、所轄庁の認可を受けるとともに、規程の整備や社会福祉充実計画案の検討等の準備を進めた。
- 直営施設においては、地域や関係機関との連携を図りながら、利用者の自立に向けた支援の充実、防災・防災対策の計画的な取り組みによる利用者の安心安全の確保、就労支援事業での工賃向上に向けた取り組みなど、サービスの向上に努めた。
- 指定管理施設においては、県施設の管理を適正、適切に行うとともに、多様化するニーズに柔軟に対応した質の高いサービスの提供に努めた。また、国、県等からの委託事業により、障がい者の就業と生活の一体的支援や、29 年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向けた障がい者スポーツの普及・振興等に取り組んだ。
- 老朽化が進んでいた身体障がい者福祉センター及び障がい者更生センターにおいて県による大規模改修工事が実施され、施設の利便性・快適性の向上が図られたとともに、工事期間中も利用者の安全に配慮したサービスの提供に努めた。

2 法人運営

(1) 理事会の開催

第 1 回（平成 28 年 5 月 26 日）

- 平成 27 年度事業報告並びに収支決算について
- 平成 28 年度収支補正予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団就業規則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職員の職の設置規程の制定について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職員の給与等支給規程の制定について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団職員の育児又は家族介護のための休業その他勤務の取り扱いに関する規程の一部改正について

第 2 回（平成 28 年 8 月 1 日）

- 役員の報酬改定について
- 平成 28 年度収支補正予算について

第 3 回（平成 28 年 12 月 16 日）

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の変更について

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団評議員選任等委員会の運営等に関する細則の制定について
- 評議員選任等委員会委員の選任について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団職員の育児又は家族介護のための休業その他勤務の取り扱いに関する規程の一部改正について
- 平成 28 年度収支補正予算について

第 4 回（平成 28 年 3 月 24 日）

- 平成 28 年度収支補正予算について
- 平成 29 年度事業計画並びに収支予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款施行細則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員等報酬等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団経理規程の一部改正について
- 評議員選任等委員会の招集について
- 評議員候補者の推薦について
- 施設長の任免について

(2) 評議員会の開催

第 1 回（平成 28 年 5 月 26 日）

- 平成 27 年度事業報告並びに収支決算について
- 平成 28 年度収支補正予算について

第 2 回（平成 28 年 7 月 27 日）

- 理事の選任について
- 平成 28 年度収支補正予算について

第 3 回（平成 28 年 12 月 16 日）

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の変更について
- 平成 28 年度収支補正予算について

第 4 回（平成 29 年 3 月 24 日）

- 平成 28 年度収支補正予算について
- 平成 29 年度事業計画並びに収支予算について
- 理事の選任について

(3) 監査

平成 28 年 5 月 20 日 監事監査

3 施設の経営

- 施設数 13 施設（直営施設 7 施設、指定管理施設等 6 施設）
- 職員数 114 名 ほかにも嘱託職員 111 名（29.3.31 現在）

○ 施設の定員等

施設区分		サービス/定員	
直営施設	しげのぶ清流園	生活介護	60名
		施設入所支援	40名
		短期入所	5名
	しげのぶ清愛園	生活介護	34名
		自立訓練	6名
		就労移行支援	10名
		就労継続支援（B型）	20名
		施設入所支援	40名
短期入所		5名	
共同生活援助		18名	
道後ゆう	就労移行支援	15名	
	生活介護	35名	
	自立訓練	20名	
	施設入所支援	40名	
ほほえみ工房ぱれっと道後	就労継続支援（B型）	40名	
どうご清友寮	宿泊型自立訓練	20名	
	共同生活援助	28名	
福祉工房いだい清風園	生活介護	40名	
	就労継続支援（B型）	15名	
	施設入所支援	50名	
ほほえみ特定相談支援事業所	—	—	
指定管理施設等	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	20世帯	
	愛媛県身体障がい者福祉センター	—	
	愛媛県障がい者更生センター （道後友輪荘）	(宿泊) 45人 ※平成29年3月10日付け変更	
	愛媛県視聴覚福祉センター	—	
	えひめ障がい者就業・生活支援センター	—	
	愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—	

4 各施設の取組み（概要）

○ しげのぶ清流園

- ・ ユニットケア方式により、利用者のニーズに即して生活できるよう支援するとともに、明るく、楽しく、生きがいを持ち、安心して過ごすことのできるきめ細かなサービスを提供することで、魅力ある施設づくりに努めた。
- ・ 外部講師を招いての施設内研修の充実や外部研修への積極的な参加等により、職員の資質及びサービスの向上に努めた。
- ・ 助成金を活用して介護機器を導入し、利用者への安心・安全・快適なサービスの提供に努めるとともに、職員の負担軽減にも繋げた。

○ しげのぶ清愛園

- ・ 利用者一人一人の主体性を尊重し、利用者がやりがいを持って、生き活きと日中活動できる環

境づくりに努めるとともに、利用者の地域での自立を目指し、生活能力向上のための自立訓練や就労に必要な知識及び技術の向上のための支援を実施した。

- ・ 利用者の高齢化に伴い、車イス対応トイレの整備や浴室を改修したほか、夜間の防犯対策として外灯の増設等を行った。
- ・ 就労支援事業においては、将来的な工賃向上に向けて、作業棟に新たな作業スペースを設置し、効率化を図るとともに、作業種目の拡大等に努めた。

○ 道後ゆう

- ・ 利用者のニーズに即したサービスの提供を行うとともに、教養講座等による社会適応性の向上や利用者の職場見学・職場体験実習の実施による就労及び定着支援のほか、機能訓練を適切に実施することにより、地域生活への移行に努めた。
- ・ 外部研修や他施設の勉強会にも積極的に参加し、職員の資質及びサービスの質の向上に繋げた。

○ ほほえみ工房ぱれっと道後

- ・ 就労継続支援B型事業所として、販売サービス科、クリーニング科、清掃メンテナンス科を就労の場として提供し、利用者一人一人の能力や障がいの特性に応じた就労支援及び職業訓練を行うとともに、自立した社会生活を送るために必要な生活支援を行った。
- ・ 新製品の開発、販路の拡大及び作業の効率化により、安定した収入を確保し、目標工賃を達成した。

○ どうご清友寮

- ・ 利用者の自立に必要な生活支援を行い、利用者10名について地域生活への円滑な移行を図った。
- ・ 企業及び関係機関との連携を密にして、利用者の職場定着等の支援に努めた。

○ 愛媛県社会福祉事業団共同生活援助事業所

- ・ バックアップ施設の職員と世話人が連携を密にし、利用者が地域で安心して暮らせるよう家事援助を行うとともに、就労や地域活動参加のための支援を行った。
- ・ 利用者の高齢化等に伴う支援体制の強化を図るため、現在の「外部サービス利用型」から「介護サービス包括型」への事業体系移行に向けた準備を行った。

○ 福祉工房いだい清風園

- ・ 利用者のニーズと適性に即したきめ細やかな支援計画に基づき、利用者が生きがいを持って生活できるよう質の高いサービスを提供した。
- ・ 就労支援事業においては、新商品の開発や道の駅等新規販路の開拓により、工賃の向上に努め、目標工賃を達成した。

○ ほほえみ特定相談支援事業所（愛媛県社会福祉事業団特定相談支援事業所）

- ・ 地域及び施設で生活する障がい者のニーズに基づき、関係機関等との連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成し、定期的にモニタリングを実施して、障がい者の生活の質が高められるよう努めた。

○ 愛媛県立愛媛母子生活支援センター

- ・ 入居している母子が、心身共に健康的な生活を送りながら、経済的・精神的自立を目指せるよう、生活全般にわたる助言、相談等の支援を積極的に行った。

- ・ 外壁タイルの改修のほか、老朽化していた貸し出し用電化製品の買い替えや居室の全室排水管清掃の実施等により、居住環境の充実を図った。
- **愛媛県身体障がい者福祉センター**
 - ・ 「障がい者利用の促進」と「事業内容の向上」を目標に、関係団体との合同レクリエーション教室の新規開催、機能回復訓練の充実等、サービスの向上に努めた。
 - ・ 平成 29 年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向け、競技力強化のための教室、大会を継続的に実施するとともに、県内全域の障がい者スポーツの普及に努めた。
 - ・ 本年度は、愛媛県による大規模改修工事が実施され、屋根及び外壁の補修や昇降機の更新等、施設・設備の整備が行われた。
- **愛媛県障がい者更生センター**
 - ・ 障がいのある方やその家族等が、気軽に安心して宿泊・休憩等に利用できる施設として、設備の安全管理や食品の衛生管理に最善の注意を払うとともに、設備の充実や質の高いサービスの提供に努めた。
 - ・ 本年度は、愛媛県による大規模改修工事が実施され、屋根及び外壁の補修や昇降機の更新、客室バス・トイレの設置等、施設・設備の充実が図られたとともに、工事期間中もできる限り営業を行い、収入確保に努めた。
- **愛媛県視聴覚福祉センター**
 - ・ 視覚障がい者及び聴覚障がい者の自立及び社会参加を促進するための拠点施設としての機能を発揮できるよう、利用者団体・関係機関との連携の下、きめ細やかなサービスの提供に努めた。
 - ・ 視覚障がい者の生活訓練、情報の提供、聴覚障がい児の訓練、各種相談等、様々な事業の実施のほか、災害時における聴覚障がい者に対する情報支援者の確保並びに平成 29 年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向けた手話通訳者及び要約筆記者の養成に取り組んだ。
- **えひめ障がい者就業・生活支援センター**
 - ・ 地域で生活する就職や職場定着が困難な障がい者に対して、様々な関係機関との連携の下、就業面と生活面における一体的な支援を行い、相談支援件数、就職者数のいずれも年度当初の目標を達成した。
 - ・ 県から受託した障がい者マッチング事業においては、障がい者雇用に対する企業等への理解・促進に努めた。
- **愛媛県障がい者スポーツ協会事務局**
 - ・ 障がい者スポーツの振興のため、障がい者スポーツ大会の開催など県からの受託事業を着実に実施するとともに、平成 29 年度に開催される全国障害者スポーツ大会に向け、障がい者スポーツの普及・啓発、指導員の育成に取り組んだ。
 - ・ 日本障がい者スポーツ協会からの受託により、障がい者サイクリング大会や障がい者スポーツフェスティバルを開催し、障がい者スポーツの理解・促進に努めた。